

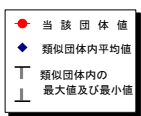
(4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成22年度

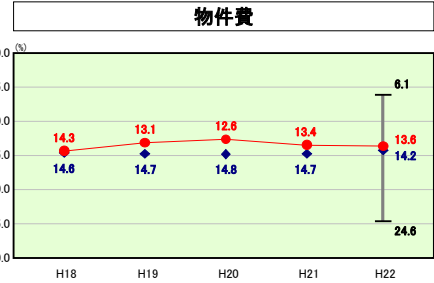
北海道白老町

経常収支比率の分析

人口	19,483 人 (H23.3.31現在)	実 質 赤 字 比 率	- %
面積	425.75 km ²	連 結 実 質 赤 字 比 率	- %
歳入総額	12,926,466 千円	実 質 公 債 費 比 率	17.9 %
歳出総額	12,805,481 千円	特 別 負 担 比 率	240.3 %
実質収支	117,020 千円	市 町 村 類 型	H18 V-2 H19 V-2 H20 V-2
標準財政規模	6,659,809 千円	(年 度 毎)	H21 V-2 H22 V-2
地方債現在高	17,223,460 千円		



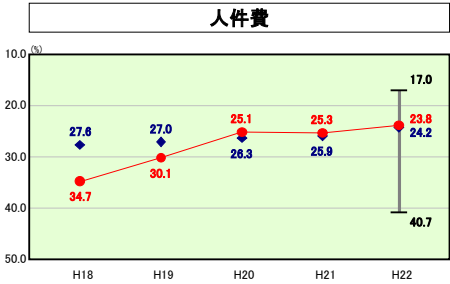
※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。



類似団体内順位 70/139 全国平均 12.8 北海道平均 10.9

物件費の分析欄

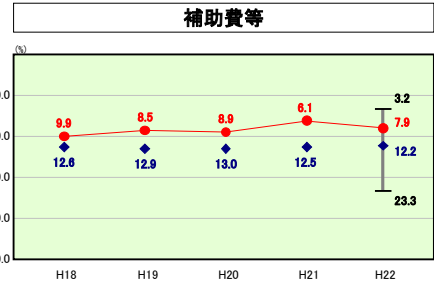
物件費については、類似団体平均を若干下回っているものの、今後とも新財政改革プログラムに基づき計画的に比率の低減に努めたい。



類似団体内順位 64/139 全国平均 25.1 北海道平均 22.6

人件費の分析欄

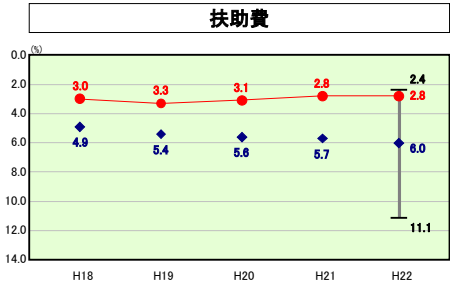
類似団体との比較では、若干下回っているが、消防署を単独で設置していることによるものが大きい。今後においても、新財政改革プログラムに基づき、適正な定員管理の実施等による人件費の削減・抑制に努めたい。



類似団体内順位 19/139 全国平均 10.1 北海道平均 11.6

補助費等の分析欄

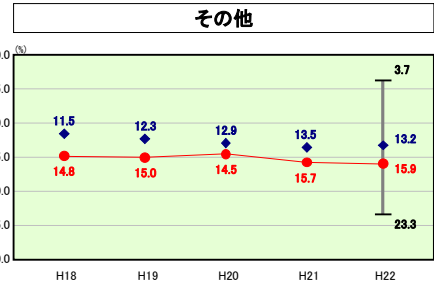
補助費等については、類似団体平均や北海道平均を下回っているものの、サンセット方式の導入や事業の見直し等により補助費等の抑制に努めたい。



類似団体内順位 2/139 全国平均 10.4 北海道平均 9.6

扶助費の分析欄

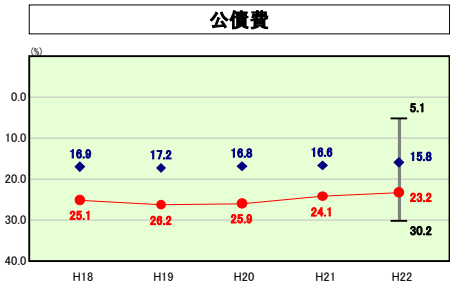
扶助費については、類似団体平均と比較して低い状況ではあるが、今後、高齢社会の一層の進展により新たな行政需要の発生などが予想されることから、今後も適正な事業の執行と上昇率の抑制に努めたい。



類似団体内順位 110/139 全国平均 11.8 北海道平均 11.6

その他の分析欄

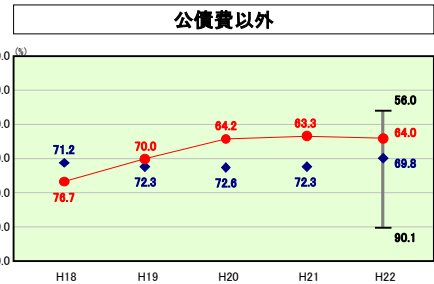
その他に係る経常収支比率は、類似団体平均を上回っている。これは、赤字会計である公共下水道事業や病院会計などへの繰出し金が、類似団体を上回っていることが要因である。特に、平成22年度においては、工業団地造成事業等2特別会計の廃止等に伴い繰出し金が増大しており、その傾向が顕著となっている。今後とも新財政改革プログラムに基づき、連結赤字額の解消を図り、財政健全化に向けた取り組みを進めていく。



類似団体内順位 134/139 全国平均 19.0 北海道平均 21.2

公債費の分析欄

他の項目においても触れているが、過去からの地方港湾白老港の建設に係る地方債の発行等を主たる要因として、公債費の比率が高くなっているものであるが、今後においては、新規地方債の発行の抑制と計画的な償還の実施により、後世への負担を少しでも軽減できるよう財政健全化に努める。



類似団体内順位 16/139 全国平均 70.2 北海道平均 66.3

公債費以外の分析欄

普通建設事業については、類似団体平均を上回っているが、土木費(主に港湾建設事業等)をはじめ、平成22年度においては、新たに光通信事業(約365百万円)、地デジ移行に係る難視聴対策事業(76百万円)、さらには、小中学校耐震化事業(68百万円)等の実施したことによるものである。今後は、新財政改革プログラムに基づき、普通建設事業の縮小による新規地方債発行額の抑制など後世への負担を少しでも軽減するようあらゆる経費の見直しや削減を行い、行財政改革を強力に進め財政の健全化に努める。